

—— 令和2年度 第Ⅲ四半期 ——

# 保証季報



## 四半期事業概況

## 月別事業概況

## 未来へ歩む京の企業

池田酒造株式会社

## 金融機関紹介

京都中央信用金庫 円町支店

## 関係機関紹介

京都府事業引継ぎ支援センター

## お知らせ

- 女性活躍推進法に基づく「えるぼし認定」が三つ星へランクアップ
- コロナ禍における経営支援～オンラインセミナー～
  - ・経営支援セミナーを開催
  - ・女性創業セミナーを開催

あなたの企業の一員に



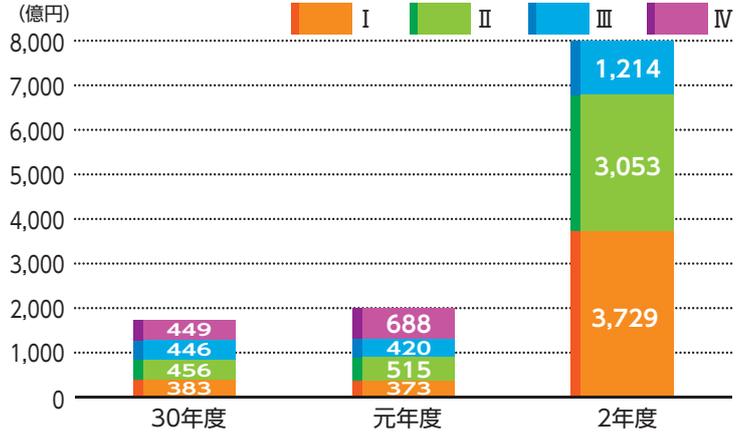
**京都信用保証協会**

CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF KYOTO

### 保証承諾

(単位:百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	17,068	372,881	813.5	1,001.0
II	15,215	305,328	581.8	593.4
III	7,168	121,396	309.4	288.7
IV				
年度累計	39,451	799,605	561.2	611.6

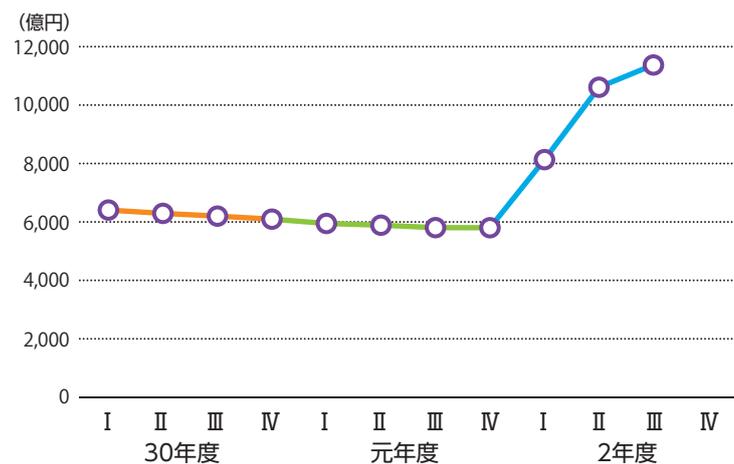


令和2年度第Ⅲ四半期の保証承諾は7,168件、1,213億96百万円となりました。前年度同期と比べ件数で309.4%、金額で288.7%となり、件数、金額ともに上回りました。

### 保証債務残高

(単位:百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	48,841	813,271	113.4	136.7
II	60,070	1,061,028	142.0	180.2
III	64,295	1,137,618	154.5	196.0
IV				

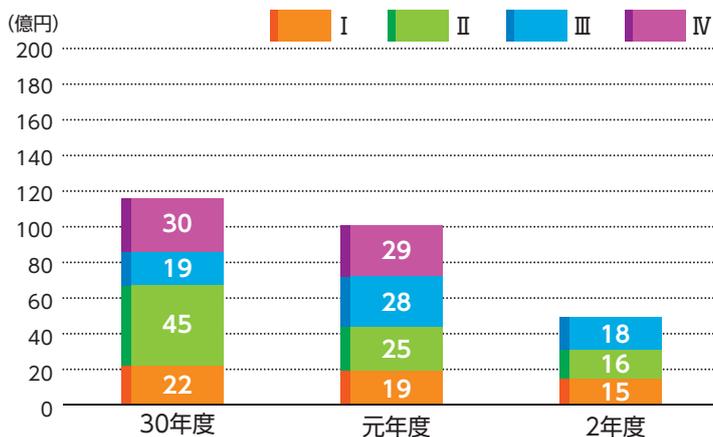


令和2年度第Ⅲ四半期の保証債務残高は64,295件、11,376億18百万円となりました。前年度同期と比べ件数で154.5%、金額で196.0%となり、件数、金額ともに上回りました。

## 代位弁済

(単位:百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	118	1,547	108.3	82.1
II	72	1,631	49.7	66.1
III	82	1,796	48.2	65.2
IV				
年度累計	272	4,975	64.2	70.0

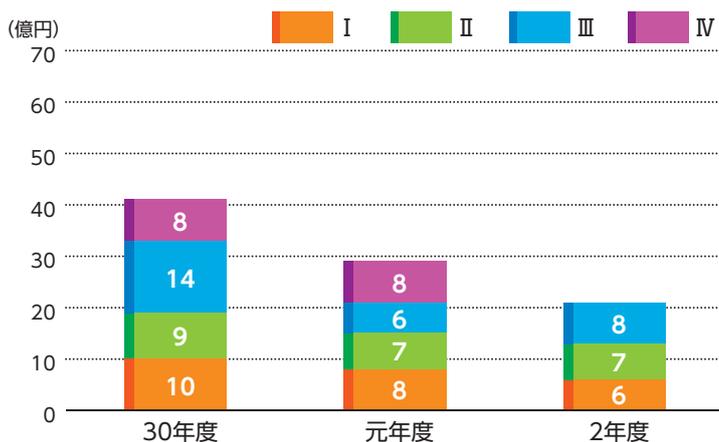


令和2年度第Ⅲ四半期の代位弁済は82件、17億96百万円となりました。  
前年度同期と比べ件数で48.2%、金額で65.2%となり、件数、金額ともに下回りました。

## 求償権回収

(単位:百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	62	553	80.5	69.1
II	65	654	127.5	93.2
III	68	809	121.4	143.2
IV				
年度累計	195	2,016	106.0	97.5



※損害金回収を含む。件数は完済分。

令和2年度第Ⅲ四半期の求償権回収は68件、8億9百万円となりました。  
前年度同期と比べ件数で121.4%、金額で143.2%となり、件数、金額ともに上回りました。

## 保証承諾

(単位:百万円、%)

月別	件数	金額	前年同月比	
			件数	金額
4	2,771	76,072	425.0	662.6
5	6,036	135,939	915.9	1,166.8
6	8,261	160,871	1,049.7	1,139.4
7	8,032	164,946	932.9	967.8
8	4,458	87,423	570.1	574.9
9	2,725	52,959	280.3	275.8
小計	32,283	678,210	685.0	764.6
10	2,056	36,546	300.6	310.5
11	1,982	33,667	260.4	245.5
12	3,130	51,183	358.9	309.0
1				
2				
3				
小計	7,168	121,396		
累計	39,451	799,605	561.2	611.6
事業計画	—	200,000	—	—
全国累計	1,580,230	28,207,926	326.4	461.0

※全国累計は速報値。

## 保証債務残高

(単位:百万円、%)

月別	件数	金額	前年同月比	
			件数	金額
4	42,190	619,258	96.5	102.6
5	43,809	675,387	101.1	113.0
6	48,841	813,271	113.4	136.7
7	53,771	923,645	125.7	156.1
8	57,480	1,006,720	135.3	170.9
9	60,070	1,061,028	142.0	180.2
上期平残	51,027	849,885	118.8	143.0
10	61,529	1,089,072	146.3	186.1
11	62,485	1,105,452	149.3	190.0
12	64,295	1,137,618	154.5	196.0
1				
2				
3				
下期平残				
年度平残				
事業計画	—	540,000	—	—
全国累計	3,022,134	39,756,975	134.0	192.2

※全国累計は速報値。

## 代位弁済

(単位:百万円、%)

月別	件数	金額	前年同月比	
			件数	金額
4	36	449	90.0	88.4
5	55	712	177.4	137.7
6	27	387	71.1	44.9
7	28	484	90.3	102.8
8	24	411	55.8	73.9
9	20	735	28.2	51.1
小計	190	3,179	74.8	73.0
10	21	244	27.6	15.7
11	26	954	68.4	157.2
12	35	598	62.5	100.7
1				
2				
3				
小計	82	1,796		
累計	272	4,975	64.2	70.0
事業計画	—	12,000	—	—
全国累計	18,983	196,802	71.5	78.8

※全国累計は速報値。

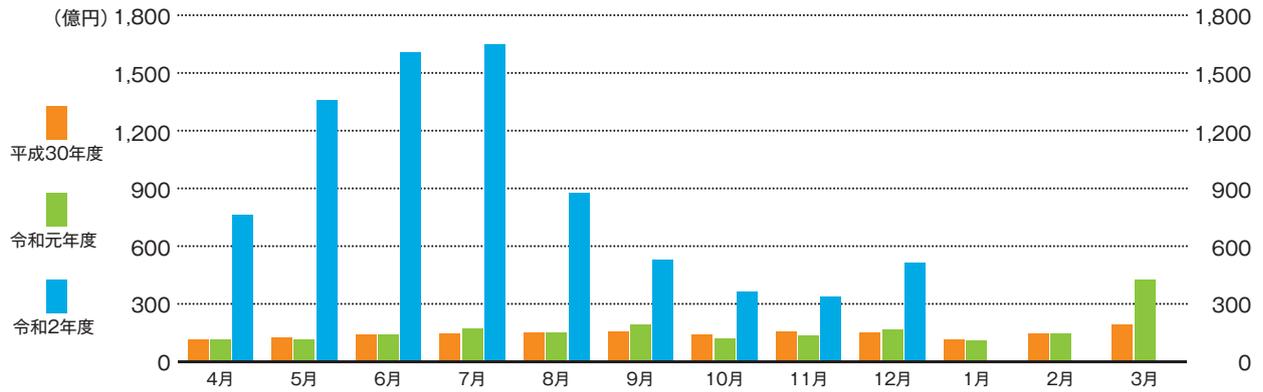
## 求償権回収

(単位:百万円、%)

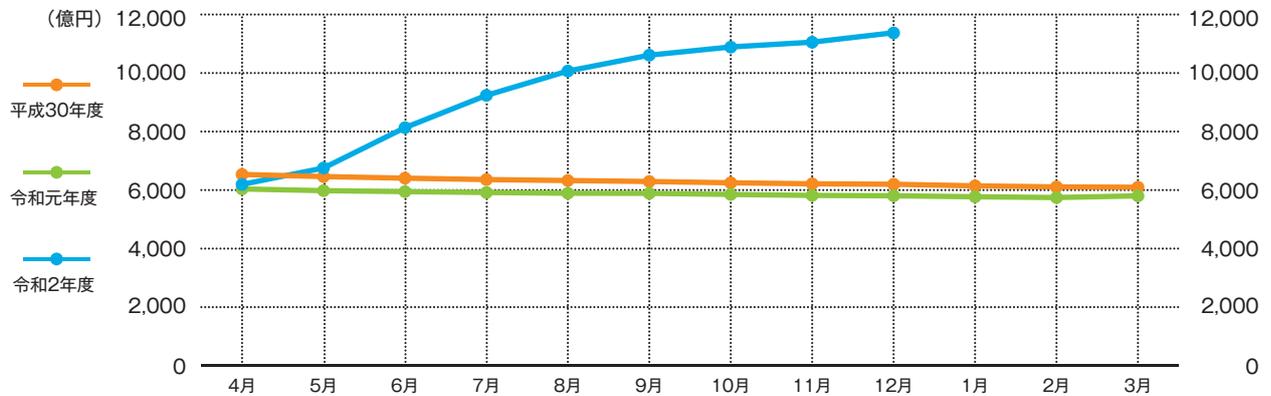
月別	件数	金額	前年同月比	
			件数	金額
4	36	203	112.5	70.9
5	14	197	48.3	52.7
6	12	153	75.0	109.2
7	25	241	156.3	89.1
8	22	270	110.0	135.7
9	18	143	120.0	61.6
小計	127	1,207	99.2	80.4
10	27	324	192.9	166.8
11	19	237	146.2	183.4
12	22	248	75.9	102.7
1				
2				
3				
小計	68	809		
累計	195	2,016	106.0	97.5
事業計画	—	2,500	—	—
全国累計	—	65,729	—	87.3

※損害金回収を含む。件数は完済分。全国累計は速報値。

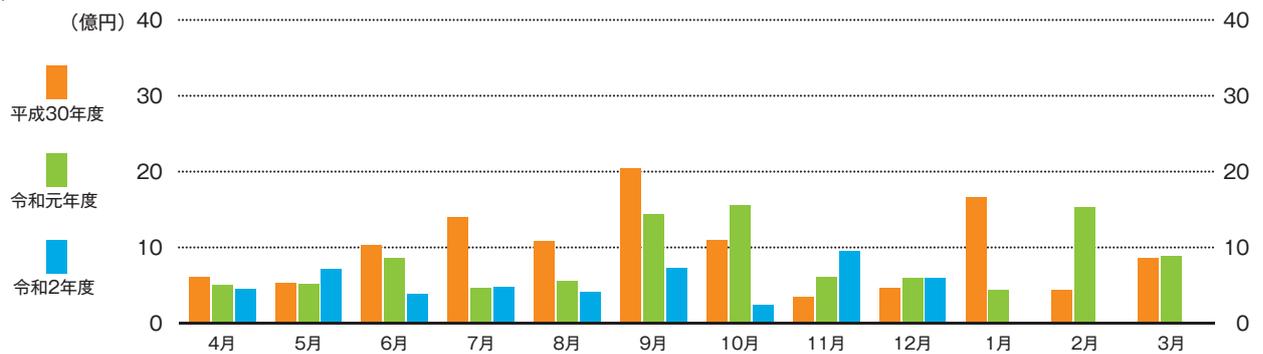
## 保証承諾



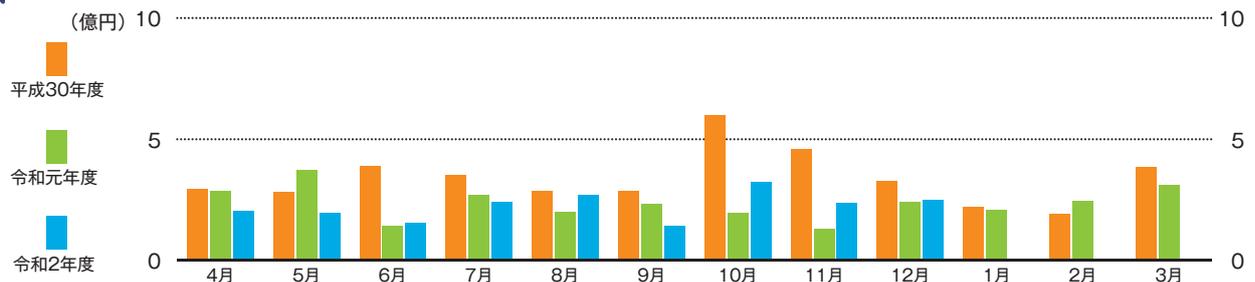
## 保証債務残高



## 代位弁済



## 求償権回収





池田酒造株式会社は、舞鶴市で酒造業を営んでおられます。今回、同社代表取締役の池田恭司様に、同社の歴史や商品、今後の展望についてお話を伺いました。



### ＼保証協会へメッセージ／

金融機関を通じて保証協会の経営支援サービスを知り、相談をしました。丁寧なアドバイスと有益な情報を頂き、販路拡大に繋げることができました。今後とも宜しくお願いします。

## 池田酒造株式会社



代 表 者／代表取締役 池田恭司  
住 所／京都府舞鶴市字中山32  
番地  
事業内容／酒造業  
創 業／明治12年



代表取締役 池田 恭司 様



## “舞鶴の酒造会社” 歴史と主力商品について

はじめに、同社の歴史について伺いました。

「当社は明治12年に創業し、私は5代目に当たります。創業後、昭和の初めの頃から徐々に会社が成長し、昭和40年頃には今の10倍くらいの出荷量がありました。しかし、昭和60年頃には日本酒業界が傾き始め、それと同時に当社も一時休蔵となり、お酒も他社から仕入れるようになりました。再びお酒造りを始めたのは平成18年、1代前の祖母の時でした。時を同じくして、当時畑違いのサラリーマンをしていた私も戻り、酒造りを手伝い始めました。平成26年に代替わりし、私が代表となりました。」



続いて、主力商品について伺いました。

「当社の主力商品は2つあります。メインブランドである“池雲”<sup>いけぐも</sup>は、酒造りを再開して一番初めに製造したお酒です。幅広く多くのお客様に飲んでいただきたい味わい深いお酒になっています。

一方、もう一つのブランド“加佐一陽”<sup>かさいちよう</sup>は、若い方にも飲みやすい、フレッシュな味わいを前面に出したお酒です。日本酒を主に取り扱っている地酒専門店専用の商品として、池雲との棲み分けをしています。

また、最近販売を始めた“鶴丸”<sup>つるまる</sup>というブランドもあります。この商品は煮干し酒で、炙った煮干しを酒に漬けて、煮干しの香ばしさと酒のうまみを日本酒に溶かした商品です。地元で採れた小魚の煮干しと、地元で栽培していただいた祝い米という酒米で造ったオール舞鶴のお酒となっています。ひとつひとつ丁寧に手で炙ることで香ばしさが強く出て、まろやかで味に癖がない商品となっています。冬の鍋に合うお酒なのでぜひ、熱燗にして飲んでいただきたいです。」



## 酒造りのこだわりと 今後の展望について

酒造りのこだわりについて伺いました。

「まず材料のこだわりは米にあります。地元から半径20～30キロの中丹エリア内の契約農家さんに、極力化学肥料を抑えた栽培をしていただけるようお願いして作っていただいています。

次に、造りのこだわりは、純米酒のみという点です。アルコール添加しないことを特徴としており、余分なものを加えず、米だけで造ったお酒というのが売りです。仕込みタンクを小さくし、ひとつひとつ手をかける時間を増やすことで、きめ細かい管理をしています。

私が代表になってからは、製造は私と妻の二人で行い、父が会長として財務を担当してくれています。製造責任者の妻は、元料理人であり、米の配分からラベルのデザインまで二人で全て考え、相談しながら造っています。」

今後の事業展開について伺いました。

「今の経営体制で酒造を再開してから、ここ5年ほどは業績も良くなってきています。保証協会にご紹介いただいたバイヤーさんによって、海外の販路も拡大できました。現在、タイや中国、台湾にも展開しています。今後は、アメリカ、ヨーロッパの方面にも販路を増やし、国外向けの売り上げも増やしていきたいと思っています。

国内に関しては、もちろん地元を大事にしながら、地酒専門店、京阪神、首都圏等にもさらに販路を拡大していきたいと思っています。

10年以内の目標として、現在の倍くらいは製造数量を増やせる体制にしていきたいと思っています。」



今回の取材で、社長のお酒造りにかける熱い思いを感じる事ができました。



## 京都中央信用金庫 円町支店

〒604-8463  
京都市中京区西ノ京円町31番地

### 支店の沿革

- 昭和36年 2月 京都市中京区西ノ京円町47番地に開設
- 昭和40年12月 京都市中京区西ノ京上合町11番地の8へ移転
- 平成21年11月 現在地に移転



### ■支店のスローガン

誰ひとり欠けることなく、  
一生懸命頑張る  
誰も見ていないところでも、  
一生懸命頑張る



### 支店管内の産業の特色及び 中小企業金融への取組などについて

当店の営業エリア内には建設、不動産、印刷、製造、呉服など多種多様な事業者が点在しています。取引先に対しては金融支援だけにとどまらず、各企業のライフステージに合わせた本業支援活動にも力を入れて取り組んでいます。

### 保証協会との連携について

お客様のニーズを的確にキャッチし、必要に応じ協会担当者の方には連携して個別相談に対応していただき、金融支援や経営支援を決めるなど、協力体制を構築していただいています。

支店職員全員で、どんな時でも、どんな場面でも、全力で業務を遂行する。

全員での取組みが、職員のスキルアップや、顧客サービスの向上に繋がる。



支店長 馬場 重信 様

### 支店長のモットー

## 陰日向なく、真面目にコツコツ努力する

特に、人の見ていない所での行動が大事であると思っており、その姿は必ず支店の職員に伝わると信じています。

これまでで一番  
心に残る体験

ある食品製造会社の社長から工場を移転したいとの話を伺い、担当していた不動産業者が紹介した物件を社長が気に入られ、購入資金を支援する運びとなりました。

当時、全く融資経験がない私でしたが、支店長から「勉強のため、自分自身で稟議を書いてみなさい」と激励を受け挑戦し、やっとの思いで融資実行まで漕ぎ着けました。食品製造会社の社長には心から喜んでもらい、「一生懸命の姿勢」は評価いただけるものと実感できたことが、最も心に残る体験です。

職員の方々への  
アドバイス

この職場で働きがいや、遣りがいを感じられるように、職員同士コミュニケーションを図ることと、お客さまの信頼を勝ち取るため、顧客接点の機会を増やし、一步踏み込んだ会話ができるよう、心掛けてほしいです。

保証協会へ  
メッセージ

新型コロナウイルス感染拡大の中、この難局を乗り越えていくには保証協会様の協力なくしてあり得ません。ウィズ・アフターコロナに向けしっかりリタグを組んで、得意先との関係構築と個社別のアフターフォローに注力したいと考えています。

# 京都府事業引継ぎ支援センター

このコーナーでは、京都府内の経済団体等が一堂に集結することで、様々な知恵が融合した新たな価値を生み出す“京都経済センター”に入居する中小企業支援機関を紹介しています。

今回は京都府事業引継ぎ支援センター 統括責任者 成岡秀夫様に活動内容や今後の展望、京都経済センター内での連携支援などについてお話を伺いました。

## ■ 事業概要

中小企業経営者の高齢化が進むなか、親族内で引き継ぐ者がなく、事業存続の悩みを抱える事業所が少なくありません。このような承継問題を先送りし、対策をとらないまましていると、いずれは廃業に至り、雇用の喪失という事態を招きます。これは社会にとって大きな損失となります。そこで、京都府事業引継ぎ支援センターでは、事業承継の実務に精通した専門家が従業員や第三者等への承継を支援することで、事業の円滑なバトンタッチをサポートし、次世代へ中小企業の経営資源の継承・存続を図ります。本事業は、経済産業省(近畿経済産業局)からの委託事業であり、京都府では「京都商工会議所」が委託を受けて事業を実施しています。秘密厳守、相談無料です。安心してご相談いただける公的機関です。



## ■ 中小企業・小規模事業者への支援内容

第三者へ事業を引き継ぐ場合には、実務に精通した専門家が譲渡の可能性やその方法等をアドバイスします。また、全国各都道府県の引継ぎ支援センターのデータベースを活用し、相手先を探すことも可能です。その他、相手先を探してくれる金融機関やM&A支援会社をご紹介する事もできます。役員・従業員に引き継ぐ場合は、具体的な承継の進め方や留意点について助言し、株式譲渡の計画や株式取得資金の調達方法についてアドバイスします。親族に引き継ぐ場合には、税制や補助金に関する情報を提供し、事業承継計画の策定等をサポートします。

## ■ 中小企業者および関係機関に伝えたいこと

後継者の不在などの理由により、廃業を検討される前に当センターの活用をご検討ください。従業員に引き継ぐ場合も、外部の企業へのM&Aを検討する場合でも、まずは会社の現状をしっかりと把握することが必要です。特に、事業用資産はどうなっているか、株式は誰がいくら持っているか、自社の貸借対照表におかしな部分はないか。在庫金額は適正か、借入金は月商の何か月分に収まっているかを知っていないといけません。親族や従業員への承継ならまだしも、外部の第三者への承継は、譲渡側と譲受側の想いが初めから一致することは、まずありません。交渉にも時間がかかるので、早め、早めの行動が必要です。



## ■ 京都経済センター内での連携支援について 保証協会への意見・要望

早期のご相談受付に向けて、当センターでは保証協会や金融機関、商工団体や各種支援機関との連携強化に努めています。具体的には、京都府事業引継ぎ支援センター連絡会議を年2回開催し、当センターの実績報告や各金融機関、支援機関、行政の取組み状況等について意見交換を行っています。保証協会への要望につきましては、保証協会の専門家派遣事業「京都バリューアップサポート」を実施している事業者に対して事業承継に関する徹底したヒアリングをお願いします。

経営改善を進めると同時に事業承継については当センターの支援を受ける体制を作ることが、今後の事業承継の促進に向けて大きなパワーになります。

### その他 告知事項

平日の昼間の時間帯に相談にお越しいただきにくい企業に対しては、月に一度土曜日午後に「特別相談会」を実施しています(事前予約制、先着順)。

本年度の次回以降の「特別相談会」は、令和3年2月13日(土)と3月13日(土)の13時から16時の時間帯に開催しています。場所は京都商工会議所が入居している京都経済センターの7階です。

### 京都府事業引継ぎ支援センター

【連絡先】 TEL:075-353-7120 E-mail:sjb@kyo.or.jp

【事務局】 京都商工会議所 中小企業支援部 創業・事業承継推進課

【住 所】 〒600-8565 京都市下京区四条通室町東入  
京都経済センター 7階

# お知らせ

## 女性活躍推進法に基づく「えるぼし認定」が三つ星 へランクアップ

当協会は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）に基づく一般事業主行動計画を策定し、職員の個性や価値観、ライフスタイル等を相互に認め合うとともに、女性職員の活躍を後押しし、キャリア形成を図るための環境整備に取り組んでいます。

この度、女性の活躍推進に関する取組みの実施状況等が一定の基準を満たしたことから、令和2年10月23日付で女性活躍推進法に基づき、「えるぼし認定（三つ星）」を全国の信用保証協会ですべて初めて取得しました。令和元年8月5日に取得した二つ星認定からのランクアップとなります。

今後も引き続き、「ワークライフバランスの充実」に向けた取組みを行い、女性活躍推進企業として、働きやすい職場環境作りに努めてまいります。



えるぼし認定授賞式  
（中央：京都労働局 局長 金刺 義行 様）  
（左：当協会 理事長 山内 修一）



えるぼしマーク(三つ星)

認定	概要
えるぼし	女性活躍推進法に基づき、一般事業主行動計画を策定した企業のうち、女性の活躍推進に関する取組みの実施状況が優良な企業に対して、厚生労働大臣から与えられる認定。



## コロナ禍における経営支援 ～オンラインセミナー～

### 経営支援セミナーを開催

「ポストコロナにおける企業価値の創造」をテーマとして、全3回にわたりリレー形式のウェブ受講型セミナーを開催しました。第1回は「コロナ後に必要となるビジネスの視点～ヒトとモノの相互活用～」(令和2年10月8日)、第2回は「ポストコロナにおける事業継続のための戦略」(同月29日)、第3回は「ポストコロナ社会におけるITを活用した集客と販促方法」(11月12日)というテーマで総計60名に参加いただきました。



第1回 セミナーの様子



### 女性創業セミナーを開催

令和2年11月18日(水)、女性創業支援チーム「ことさら」を中心に女性のための創業セミナー「コロナ以後における創業準備」を開催しました。本セミナーはオンラインで開催され、当日は、創業をどのように進めていくのか悩んでいる方を対象に、実際に当協会の支援で創業された事例の紹介を交えながら講演を行い、計16名の方に参加いただきました。

当協会は、引き続きウィズコロナ・ポストコロナ社会も見据えた創業支援・経営支援に努めてまいります。



セミナーの様子



# 本所

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地  
 京都経済センター5階  
 ●業務区域／京都市、向日市、長岡京市、乙訓郡

●電話	●FAX
保証統括課 : (075) 354-1011	(075) 354-1061
企業発展推進課 : (075) 354-1012	(075) 354-1062
保証審査課 : (075) 354-1013	(075) 354-1063
経営支援課 : (075) 354-1015	(075) 354-1065
再生支援課 : (075) 354-1016	
管理統括課 : (075) 354-1031	(075) 354-1038
管理第一課・第二課	
総務課 (経営監査・コンプライアンス室) : (075) 354-1021	(075) 354-1028
人事課 : (075) 354-1022	(075) 354-1028
情報企画課 : (075) 354-1023	(075) 354-1029

## 専用相談窓口

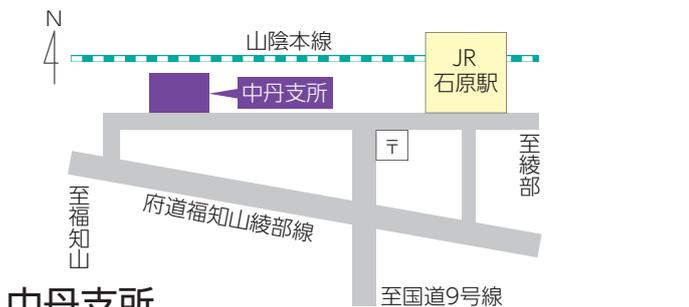
●電話
事業承継サポートデスク : (075) 354-1018
海外展開サポートデスク : (075) 354-1019
創業サポートデスク : (075) 354-1020

お役立ち情報を公式LINEにて随時配信中！  
 ぜひ、友だち登録をお願いします！



## 山城支所

〒611-0033 宇治市大久保町上ノ山37番地の3  
 ●業務区域／宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、相楽郡、綴喜郡、久世郡  
 ●電話／ ●FAX／  
 保証関係: (0774) 43-8822 保証関係: (0774) 43-8899  
 管理関係: (0774) 43-8823 管理関係: (0774) 43-8824



## 中丹支所

〒620-0804 福知山市石原2丁目24番地  
 ●業務区域／福知山市、綾部市、舞鶴市  
 ●電話／(0773) 27-6156 ●FAX／(0773) 27-6158



## 南丹支所

〒621-0052 亀岡市千代川町千原2丁目6番11号  
 ●業務区域／亀岡市、南丹市、船井郡  
 ●電話／(0771) 22-1041 ●FAX／(0771) 22-6737



## 丹後支所

〒629-2503 京丹后市大宮町周枳2226番地3  
 ●業務区域／宮津市、京丹后市、与謝郡  
 ●電話／(0772) 68-0601 ●FAX／(0772) 68-0613

あなたの企業の一員に  
**京都信用保証協会**  
 CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF KYOTO  
<https://kyosinpo.or.jp/>



### 表紙の写真／嵐山

四季折々の風情ある景色を楽しめる風光明媚な名勝として、平安時代から親しまれてきた嵐山は、国の史跡名勝にも指定され、当地に因んだ和歌も数多く残されている。

12月に開催される「花灯路」では、日本情緒豊かな陰影のある露地行灯の「灯り」と、ボリューム感のあるいけばな作品の「花」で、総延長5.2kmの散策路が演出され、多くの観光客で賑わいを見せる。